

開館 特別企画展
20th 記念展

チェ・ジョンファ

Choi Jeong Hwa

生活展

せいせい かつかつ

あらゆるものは、
輝くだろう

Life, live
All that shining

2022
10.14 [金] → 12.11 [日]



《Infinity (Iron)》2019

[会場] 鹿児島県霧島アートの森 アートホール

[主催] 鹿児島県文化振興財団 / 南日本新聞社 / MBC南日本放送 / KTS鹿児島テレビ

[開園時間] 9:00~17:00(入園は16:30まで)
※月曜日休園(祝日の場合は翌日休園)

[協力] 湧水町 / 一般社団法人霧島山麓湧水町観光協会 / 第一交通産業株式会社 / 日置市 / 霧島市教育委員会 / 南九州市教育委員会 / 湧水町教育委員会 / 始良市歴史民俗資料館 / 串木野市漁業協同組合 / 串木野市本浦沿岸組合 / 枕崎港国際化対策推進協議会 / 飯屋工房 / 琴鳴堂 四元誠 / 新湯温泉霧島新燃荘 / 湯治の宿 田島本館 / 湯治の宿 妙見館 / 有限会社高山金属 / NPO法人PandA

[観覧料] 一般:800(600)円 / 高大生:600(400)円
小中生:400(300)円
()内は前売り又は20人以上の団体料金

[特別協賛] トヨタカラー鹿児島 [助成] 公益財団法人 花王芸術・科学財団

[前売り券販売所]

南日本新聞社、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、一般社団法人 霧島山麓湧水町観光協会加盟店舗、霧島温泉市場、コープサービス、鹿児島大学生生活協同組合、県職員生協、宮崎県立美術館、都城市立美術館、宝山ホール(鹿児島県文化センター)、What、山形屋プレイガイド、大谷画材、集景堂、十字屋クロス、高木画荘、国分進行堂、チケットぴあ(Pコード:686-216)、ローソンチケット(Lコード:85475)、e+イープラス

[公開制作]

2022年9月24日[土]~10月5日[水]

※作家の在館状況は本館ホームページでご確認ください。
※入園料のみでご覧いただけます。

チェ・ジョンファ 展

Choi Jeong Hwa

生活

せいせい かつかつ

強烈な色使いやダイナミックな造形によって国内でも広く知られている韓国を代表する現代アーティスト チェ・ジョンファの個展を開催します。

本展は、2020年夏に開館20周年の展覧会として企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により2度の延期を余儀なくされました。

そのような状況にあって、チェは韓国や鹿児島で収集した日常の事物から着想を得て非日常的な作品へと昇華させた新作に加え、「人類世」や「相利共生」の視点に着目したインスタレーションなどを展示します。ここでしか見ることのできないチェ独自の輝くような美しさを味わうものとなるでしょう。



《Your Bright Future》2020



《Blooming Matrix》2018



《Fruits》



《あなたこそアート》2000
photo: Hanayuki Higashi



©Tae Kyun Wang

崔正化 チェ・ジョンファ / Choi Jeong Hwa

1961年生まれ。弘益大学校絵画科卒業。

2005年ヴェネツィア・ビエンナーレ韓国館代表作家。2018年平昌パラリンピックでは開・閉会式のアートディレクターを務めた。日本での主な展覧会に「横浜トリエンナーレ」(2001/神奈川)、「チェ・ジョンファ OK!展」(2009 十和田市現代美術館/青森)、「六本木アートナイト」(2010 2016 2019/東京)、「瀬戸内国際芸術祭」(2013/香川)、「福岡アジア美術トリエンナーレ」(2014/福岡)、「チェ・ジョンファ Blooming Matrix 花ひらく森展」(2019-2020 GYRE GALLERY/東京)など。2002年に本館のレジデンス事業でワークショップを実施。本館コレクション作家。

関連イベント

① フルーツツアープロジェクト

(野菜や果物、花をかたどったバルーン作品の展示)

日時: 9月23日[金・祝]~25日[日] 10:00~16:00

会場: 宝山ホール・鹿児島市中央公民館前広場 ※雨天中止

② あつめよう あつまろうプロジェクト(ワークショップ)

日時: 10月9日[日] 13:30~ 定員: 16名

③ オープニングセレモニー

日時: 10月14日[金] 14:00~

④ アートパフォーマンス

日時: 10月14日[金] 14:30~

参加アーティスト: コンタクト・インプロビゼーショングループClco

⑤ トークイベント 南條史生 × チェ・ジョンファ

日時: 10月15日[土] 14:00~15:30

⑥ 学芸員によるギャラリートーク

日時: 11月6日[日]・13日[日]・23日[水・祝]・12月4日[日] 14:00~



Clco (シーアイシーオー)

2000年東京に設立。国内各地、アジア、欧米、アフリカなどでコンタクト・インプロビゼーションの活動を展開。東日本大震災後に鹿児島県に移住。「芸術と自然と人間の生活」をテーマに、ダンスアーティストの新しい社会的役割を見出している。国際ダンスフェスティバル-Dance Japan主催、TEDxKagoshimaなどに登壇、ユニークペニュー活用促進事業で霧島アートの森にてイベント実施(2021)など。2020年以降は、身体性とふれあいのあり方を再構築。人間がウィルスによる急激な変化をどう乗り越えるのか。その答えが身体の芸術にあると信じて、鹿児島からの提案を目指す。



南條史生 なんじょう ふみお

森美術館特別顧問/エヌ・アンド・エー株式会社 代表取締役

1972年慶應義塾大学経済学部、1977年文学部哲学科美術学専攻卒業。国際交流基金等を経て、1990年ナンジョウアンドアソシエイツ(株)(現エヌ・アンド・エー(株))設立。2002年より森美術館立ち上げに参画、2006年11月から2019年まで館長、2020年より特別顧問。1990年代末よりヴェニス・ビエンナーレ日本館を皮切りに、台北・横浜・シンガポール、北茨城、ホノルル、北九州等国際展で総合ディレクションを歴任。1997年~1999年霧島アートの森作品選定に関わる。著書として「アートを生きる」(角川書店、2012年)等。

※関連イベントの詳細は、決まり次第本館ホームページ等でお知らせします。

SNSでも情報発信 チェ・ジョンファ展を検索



[アクセス]

- 車** 九州自動車道「栗野I.C.」より約20分「鹿児島空港」より約40分
- JR** 「鹿児島中央駅」より日豊本線「単人駅」のりかえ、肥後線「栗野駅」下車、町営ふるさとバスで約20分
- バス** 「栗野駅」または「いきいきセンターくりの郷」より、町営ふるさとバスで約20分~40分

[新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い]

発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合は来園をお控えください。

また、来園の際は下記の点についてご協力をお願いします。

- ① 入場時に検温をします。(37.5度以上の発熱がある場合はご入場いただけません。)
- ② 入退場時は消毒液で手指の消毒をし、屋内ではマスクを着用してください。(消毒液は園内数か所に設置してあります。)
- ③ 展示室内では他の観覧者と十分な距離(2m目安)を確保してください。
- ④ 展示室の混雑状況により、入場を制限させていただく場合があります。

[お問い合わせ]

霧島アートの森
KIRISHIMA OPEN-AIR MUSEUM

〒899-6201
鹿児島県始良郡湧水町木場6340番地220
TEL.0995-74-5945 FAX.0995-74-2545
www.open-air-museum.org



※開催の内容は変更する場合があります。最新の情報は本館ホームページやSNSにてご確認ください。